



志木二小だより

平成29年 10月号

志木市立志木第二小学校
埼玉県志木市館1丁目2番1号
電話 472-0540

----- 学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子** -----

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	10/1現在	昨年同時期
	75	80	84	101	87	88	14	529名	538名

～ **祝50周年** いままでも これからも Now nor ever ～



主体的な学びに向けて

校長 安田 一也

「秋の日は、つるべ落とし」とはよく言ったもので、日が暮れるのが早くなりました。そして、日が落ちると、どこからともなく虫の声が聞こえてきます。涼しげな虫の声が、そっと秋の訪れを教えてくれているようです。

さて、秋と言えば、芸術の秋・スポーツの秋などと並べられる言葉に「読書の秋」があります。今月は、読書に関連したことをテーマにします。

今年度、志木市では、「まちづくりサポート基金」を活用し、学校図書館の図書・書籍の一層の充実を目的に百科事典や図鑑の充足を図り、「主体的な学びを支援する事業」が展開されています。そこで、早速本校では、最新版の百科事典を購入し、社会や理科、総合的な学習の時間等の調べ学習に役立てていきたいと考えています。

これまで書架にあった百科事典をおろし、新規購入した百科事典を並べました。厚さや大きさなどの外見上に違いは見られないものの情報化が急速に進む中、掲載されている内容や情報は、更新されているのではないかと思います。ページをめくってみました。やはり、あまり使われなくなった言葉を中心に削除されている一方で、カタカナで表記する言葉が増えているようです。一例として、「アニメーション」が挙げられます。現在、日常会話で「アニメ」や「アニメ映画」などと何気なく使っている言葉が新しく購入した事典に加わっていました。これ以外にも、新たに掲載されている言葉が多数あり、これまでの事典では、調べ学習において子どもたちに不便な思いをさせていたようです。今回、新規購入しましたので、大いに活用して欲しいと思います。

学校図書館には、次の3つの機能が求められています。①読書活動を楽しむ「読書センター機能」、②学習活動を支援する「学習センター機能」、③情報収集力や情報活用力等を育成する「情報センター機能」です。今回の百科事典購入により学習センターと情報センターの2つの一層の機能化が期待できます。子どもたちの知的好奇心を満足させる読書活動を推進してまいります。どうぞ、来校した折には、図書室(学校図書館)にもお立ち寄りください。